

豊南小学校・校長室だより

令和元年（2019年）5月28日

発行 中森啓之

ひとりの子どもをみんなで見ていこう！

今年度、豊南小学校は10クラスあります。当然のことながら、クラス担任の先生は10人です。しかし、その他にも「先生」と呼ばれる人が学校にはたくさんいます。生活指導担当の先生、子ども支援コーディネーターの先生、支援の先生、算数の先生、音楽の先生、英語の先生、保健の先生、図書の先生、教頭先生、そして最後に校長の私です。また、場合によっては用務員さんや事務職員さんも指導にかかわることがあります。つまり、学校にいる大人、全てで子どもたちの指導にあたっているわけです。どのクラスの先生も、毎日、一生懸命に子どもの指導をしています。しかし、担任1人で全てのことができるわけではありません。また、様々な角度で子どもたちを見ていくこと、また、いろんなアプローチをしていくことはとても大切なことだ、と私は思っています。そういう意味から、「ひとりの子どもをみんなで見ていこう！」となるのです。子どもたちどうしのことで何か（トラブルなどです。）あった時、担任からだけでなく、担任以外の先生から保護者の方に連絡をさせていただくこともあります。それだけ多くの先生がかかわっているということなのです。

指導にあたるのは、基本はクラス担任の先生、しかし、子どもたちには多くの先生が積極的にかかわり、指導には全職員で力を合わせて取り組んでいきたいと思っておりますので、何卒、ご理解、ご協力をお願い致します。

◇6年生の修学旅行に向けて…。

先週月曜日の全校朝会では、6年生が全校児童に向けて、折り鶴のお願いをしました。6年生は来月、広島へ修学旅行に行きますが、その時に持って行く折り鶴を、全校で折ってもらうようお願いしたのです。その後、各学年の教室に6年生が鶴の折り方を教えに行きました。このように修学旅行は、6年生だけの行事ではなく、全校あげての行事となっています。6年生の皆さんには、この思いをしっかりと受けて、修学旅行に行ってくれることを希望します。



全校朝会のような



1年生にもやさしく教えてあげます。